

**Q 1 道徳教育は、道徳の時間ですか。**

**－ポイント 1－**

- 道徳教育は、学校の教育活動全体で行う
- 道徳の時間は、道徳教育の「要」の役割を果たす
- 学校だけでなく、家庭や地域社会の役割も重要である

道徳教育は、道徳の時間で行うのはもちろんですが、道徳の時間だけで行うものではありません。道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳の時間はその中核的な役割を果たします。

**(1) 教育活動全体で行う道徳教育**

国語や音楽などの教科の学習においても、教科の特質に応じて行います。また、朝の会や清掃活動などの授業以外の日常的な生活の場面においても、挨拶などの基本的な生活習慣や生活上のきまりなどの指導を行うことが大切です。さらに、広い意味で言えば、教師と児童生徒、児童生徒同士の人間関係の充実や、教室や校舎、校庭等の環境の整備も道徳性の育成に深く関わっているとと言えます。

**(2) 道徳の時間の役割**

道徳の時間には、他の教育活動における道徳教育を補ったり、深めたり、まとめたりする役割があります。言い換えれば、各教科等における道徳教育の要所を押さえて中心で留めるような、扇の「要」のような役割と言えます。道徳の時間がそのような役割を果たすことにより、各教育活動での道徳教育が調和的に生かされ、道徳の時間の指導と相まって、児童生徒の道徳性が一層豊かに育まれます。

**(3) 家庭や地域社会における道徳教育**

児童生徒の道徳性は、家庭や地域社会を含めた全ての環境の影響によって育まれるものです。特に、基本的な生活習慣の確立や規範意識などの基本的な倫理観の育成などは、家庭や地域社会の果たす役割が大きいです。したがって、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たすとともに、三者が共通理解を深め、相互の連携を図ることが必要です。

これらのことに留意して、支持的風土のあふれる温かい学級の雰囲気の中、教師一人一人の人間的な魅力を生かした道徳教育を展開しましょう。